

葦崎大村美術館入館者 10 万人記念セレモニー

葦崎大村美術館の入館者数が 4 月 2 日（土）に 10 万人を突破したことを記念して、セレモニーが行われました。

ノーベル医学・生理学賞を受賞した大村智博士から、10 万人目となった東京都調布市の中学生の山内萌さんと、祖父母の広瀬孔孝さん、摩耶子さんに花束やサイン入りの著書 2 冊などが贈られました。

美術館の入口で出迎えた大村博士から「10 万人目おめでとうございます。」と声をかけられた山内さんは「まさか 10 万人目になるなんてビックリしました！大村先生にも会えて本当に幸せです！」と感激していました。



「幸福の小径」案内板が完成

大村智博士が少年時代に自宅から中学校まで日々通った通学路を、ノーベル医学・生理学賞の受賞を記念して『幸福の小径（こうふくのこみち）』と名付けたことにともない、案内板を設置し、4 月 4 日（月）に贈呈式が行われました。

贈呈式では、贈呈者であります葦崎ライオンズクラブのメンバーら約 30 名が出席し、飯野一朗会長から内藤市長に目録が手渡されました。

デザインは、大村博士が名誉理事長を務める女子美術大学講師を務める及川玲奈さんが担当し、案内板の下部には、大村博士が発見した抗生物質「エバメクチン」の化学式がデザインされています。



わに塚のサクラ ライトアップ

4 月 1 日（金）、わに塚のサクラのライトアップ点灯式が行われました。

サクラの周りに 8 基の大型の水銀灯を設置し、白い光に照らされると幻想的な雰囲気に包まれました。





昨年5月に秋田県三種町で開催された第33回全日本マスターズウエイトリフティング競技選手権大会の40歳以上77キログラム級で優勝という快挙を果たした加賀美孝久さん（大草町在住・42歳）。本年4月にマスターズウエイトリフティングワールドカップの日本代表選手として出場し、見事に優勝されました。加賀美さんは日川高校への入学をきっかけにウエイトリフティングという競技に出会い、社会人となった現在も競技生活を続け、全日本ウエイトリフティング選手権大会や、全日本社会人ウエイトリフティング選手権大会でも上位の成績を収めています。

3月30日には、マスターズウエイトリフティングワールドカップへの出場の報告に市役所を訪れ、内藤久夫市長より激励を受け、加賀美さんからはウエイトリフティングにかける思いや、今後の展望などについてお話をいただきました。

競技者として、 そして父親として

2016年全日本マスターズ
ウエイトリフティングワールドカップ出場
加賀美孝久さん(大草町在住 42歳)

加賀美さんによると、ウエイトリフティングは様々なスポーツの基礎練習として取り入れることが可能なほか、体力づくりに応用できることで、「自分がこれまで培ってきた技術や経験を、多くの方々の役に立てることができればすごくうれしいですね。」と市民の健康増進活動といった新たな取り組みにも意欲を見せていました。

また、中学生と高校生の二人の娘さんをお持ちとのこと、「子どもたちはそれぞれ違う部活動をしています。自分というものをしっかりと持ち、強い意志で何事にも取り組んでもらえるよう、競技者として、そして父親として頑張っている姿、あきらめない姿を見せたいです。」と話してくれました。

今後ますますのご活躍を期待します。



第45回信玄公祭り

4月9日（土）に、県下最大級のイベントである信玄公祭り甲州軍団出陣式が行われました。

韮崎市からは、大将に森本由美子市議会議員、副将に三井金属ダイカスト(株)の取締役製造部長の中澤広幸さん、武者は御勅使工業団地工業会の皆さんが扮した『甘利備前守虎泰隊』が参加しました。

広げよう支援の輪 ～韮崎から熊本へ～

熊本地震を受け、韮崎市及びNPO法人減災ネットやまなしの呼びかけにより、市内関係団体の協力を得て、4月18日から支援募金活動が始まりました。市役所をはじめとする市内7ヶ所で募金の受け付けが行われ、多くの皆さまからあたたかい支援を頂いております。お寄せいただいた義援金は、被災地支援に役立てられます。

